



マナーアップ大作戦

最近、特に公共交通機関での利用の仕方や歩道での歩き方など、マナーを守って行動できるようになったと評判です。利用客の皆さんや交通機関など、外部の方からのおしかりが聞かれなくなり、中には、「よく挨拶をしてくれます。」という声も聞かれます。うれしいことです。

高学年を中心に、さらに、よりよいマナーを目指して「マナーアップ大作戦」に取り組んでいます。この取り組みは、いつも大人からの注意で行動を正す子どもではなく、自らの行動の良さや課題に気付き、どのようにすればよいか考え、判断して行動できる子どもになるようにという想いから工夫したものです。

高学年にリーダーとしての自覚を持たせるため、リーダーは、ノートにグループの記録を書き、月に1回グループの人に話して聞かせます。

例えば、

- ◎地域の人に挨拶ができています。
- ◎自転車来たらずまわって待つことができます。
- ◎階段を片側通行で歩くことができました。
- ◎2列で歩いた。
- ×声大きい、帽子で遊んでいた、あいさつをしていない人がいる。
- 高学年が注意する。
- 注意されたら、「ご指導ありがとうございました。」と言う。など。

リーダーは、よく見て、安全で気持ちのよい登下校のマナーについて考えてくれていました。

1年生が、困っていたらどのようにしたらよいか一緒に考えて寄り添ってくれていたというエピソードも伝え聞いています。うれしいことです。

逆に、高学年の注意の仕方や低学年の注意の聞き方など、これから力をつけていく必要があることも気づかされています。

これから、ますますつながりを大切にしていきながら、よい行いができるように取り組んでいきます。



ヒマワリ

在校生のご家族の勝谷さんが、運動会に向けて子どもたちを応援したいと、ヒマワリの花を届けてくださいました。種まきの時期や温度調節などに気遣われて運動会当日に合わせて栽培してくださったとのこと。登下校時に元気をもらっているなぎさっ子たちです。運動会もきっと元気いっぱいがんばるなぎさっ子をご覧くださいと思います。



10月の生活目標

- 運動会では、力を合わせて取り組もう
- 廊下、階段、オープンスペースを静かに歩こう

8時のお礼

毎朝、正門前や桜並木、五日市駅などの通学路に立って、見守りしてくださる保護者の方、元校長の白岩先生、本校の教職員など、多くの皆さんの愛情を受けて安心して登下校しているなぎさっ子。

少し前から、「8時のお礼」と称して、8時ごろに登校する子どもたちが横断歩道を渡って振り返り、なぎさっ子を代表して「見守り、ありがとうございました。」とお礼を言うようにしていました。先生や保護者の方も思わず、ニッコリ。お礼を言う子は、毎日違う子ですが、快くお礼の言葉を私と一緒に言ってくれて、頼もしいかぎりです。

また、最近では、「おはようございます」というあいさつの言葉に添えて、

「いつもありがとうございます。」

と言ってくれる子がいて、びっくりさせられました。

今では、どんどん増えて、お礼を言う子があっちにもこっちにも・・・ご家庭での指導でしょうか、きっと、地域の皆さんにもお礼を言ってくれているはず。

朝のひと時、心がほっこりとするうれしい言葉です。人の心をうつ言葉とは、このような言葉だとなぎさっ子に教えられました。